

放課後子ども教室訪問 天栄村 てんえい子ども教室

◎訪問日：令和3年7月30日（金）

◎活動場所：天栄村立牧本小学校・大里小学校

てんえい子ども教室は、平成21年度に開設された夏季休業中に開催する放課後子ども教室です。天栄村牧本小学校、大里小学校の第1学年から第6学年までの47名が登録しています。今年は、湯本小学校からも1名参加しています。月曜日から金曜日まで7：30から18：00までが主な活動時間です。例年は、天栄村山村開発センターを中心に各校が集まって活動しますが、コロナウィルス感染防止対策のために、各校での分散開催となりました。てんえい子ども教室には、コーディネーターさん1名と18名の安全管理員さんが登録をされていて、毎日3～5名の指導員が運営に当たっています。今年は、地元の大学生がボランティア活動の一環として安全管理員として参加しています。

教室の環境



【おやつ時間は大好き】

子どもの活動



【お店屋さんごっこは毎年大人気】

朝は体育館に集まり、身体を動かします。学校が開くと教室に移動して活動します。自分たちの荷物は、名前の書いてあるかごに一人ずつ整理しておきます。教室では、宿題をする子や工作をする子など、自分で遊びを決めて活動します。毎年、子ども達が自分たちでお店屋さんごっこを始めます。材料になる箱や道具などは、子ども達と安全管理員さんとで準備します。体育館では、ドッジボールや鬼ごっこが人気です。体育館には、熱中症対策のために冷風機や扇風機を準備しています。おやつの中には、それぞれ家庭から持ってきたおやつを食べます。不思議と忘れる児童はいません。みんなでなかよく食べます。

スタッフは、児童の活動に合わせて、安全を確認しながら活動を見守ります。コーディネーターさんを中心に、安全管理員さんとのミーティングを月1回実施しています。ミーティングでは、児童の様子や活動での注意事項などの情報を共有しています。スタッフが活動の情報を共有することで、安全で安心な子ども教室の運営ができます。また、児童は、毎日日記を書きます。児童の日記を活用して、児童の活動の様子やその日の出来事を家庭に伝えることで、家庭との連携を深めています。

てんえい子ども教室は、コーディネーターさんを中心にスタッフ全員が一致団結して、安全で安心な活動を実施している子ども教室でした。

活動の支え



【暑くても大丈夫】